

「学校教育目標」と「令和8年度重点目標」に向けて

グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を育む学校

探究を軸とした学びの推進 シティズンシップ教育の充実 ダイバーシティ教育の推進

豊かな人間性

- ☆自分を律する力（自律）
自ら考え判断し、責任ある行動をとる態度を育てる
- ①よりよい社会をつくろうとする力（探究を軸とした学び）
・持続可能な社会の実現に向けて行動する力を育む
- ②社会とつながる力（シティズンシップ教育）
・社会の一員として主体的に考え行動する力を育む
- ③他者を理解する力（ダイバーシティ教育）
・多様な価値観を尊重し、他者と協働する態度を育む

健康・体力

- ☆社会に根差したウェルビーイングの実現
- ①健康を大切にする生活習慣の形成
・心身の健康の大切さを理解し、望ましい生活習慣を身に付ける
- ②運動に親しむ態度の育成
・運動に親しみ、体力の向上に主体的に取り組む態度を育てる
- ③心身の調和
・心身の調和を図り、困難にしなやかに向き合う力を育む

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- ①課題を見つけ、考えることができる。
・社会や身近な事象に関心をもち、問いを立てて主体的に考えることができる。
- ②多様な人と協働できる。
・多様な価値観を尊重し、他者と協働して課題解決に取り組むことができる。
- ③自ら行動できる。
・社会の一員として主体的に考え、よりよい社会の実現に向けて行動することができる。

何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①探究型授業を通して、社会や身近な課題に関心をもち、自ら問いを立てて探究し、考えを表現する力
- ②協働的な学びを通して、互いの考えを深め、他者との対話を大切にしなが課題解決に取り組む力
- ③多様な価値観や文化を理解し、他者を尊重しながら社会の一員として行動する力

生徒の実態

・落ち着いた学校生活を送っており、仲間を思いやる気持ちをもつなど人間関係において温かさがみられる。また自分の考えを言葉で表現することができる生徒が多い。
・主体的に学習する意欲や目的意識には課題があり、学習と自己の将来を結び付けて捉える意識が十分に育っていないところがある。

生徒の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導

・多様な教育的ニーズをもつ生徒一人一人を大切に、個に応じた指導と支援の充実を図ること
・互いに尊重し合いながら共に学ぶ教育環境の充実を図る。
・ライフスキル教育を通して、日常の様々な問題や課題に対処するための手立てを学ぶ環境を整える。

目指す生徒の姿

- ①主体的に学び続ける生徒
・課題や疑問をもとに自ら考え、学びを深めようとする生徒
- ②他者と協働して課題を解決する生徒
・仲間と対話し、多様な考えを尊重しながら協働して学ぶ生徒
- ③社会や将来を見据えて行動する生徒
・社会の課題や自らの将来に関心をもち、積極的に行動する生徒

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ①教育目標の実現に向けて、探究的な学び、シティズンシップ教育、ダイバーシティ教育を柱として教育課程を編成する。
- ②各教科、総合的な学習の時間、特別活動を通して、生徒が主体的に課題を発見し、多様な他者と協働しながら課題解決に取り組む力を育成する。

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ①探究を軸とした、教科横断的な学びの実践
- ②協働的な学びの日常化
- ③国際理解教育・人権教育・多文化理解に力を入れたダイバーシティ教育の充実
- ④キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

【探究を軸とした学びの推進】
・各教科における探究型授業の実践
・STEAM教育の推進
・総合的な学習における地域探究からの世界探究

【シティズンシップ教育の充実】
・中高連携における生徒会の充実
・県内の県立中学校との連携
・職場体験学習による職業観育成

【ダイバーシティ教育の充実】
・国内語学研修の実践
・海外体験留学の実施
・多文化理解教育の実践

常陸太田市役所や地元商店会との連携、家庭との協力体制構築、外部専門家との連携・協力

安心・安全を守る

- ・PTA、教育振興会との協力、連携
- ・常陸太田警察署等との協力、連携の構築
- ・常陸太田市役所や地元商店会との協力、連携体制の構築

開かれた学校作り

- ・保護者、地域、学校評議員、同窓会等への情報発信と協力
- ・保護者、地域からのアンケートによる客観的評価と反映
- ・外部専門家と連携して探究活動等の質的向上